

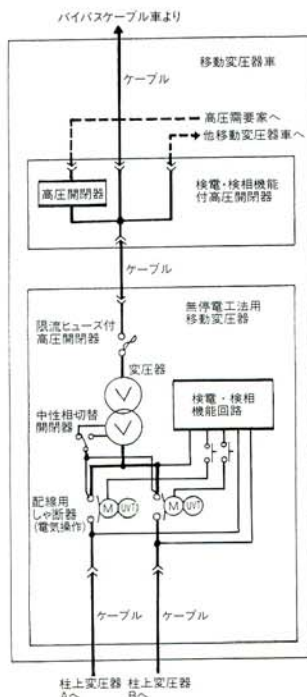
無停電工法用移動変圧器

配電の近代化が提唱されている昨今、中部電力㈱では、来たるべき無停電工事時代にそなえて、6 kV配電線路の大規模無停電工事の対応が検討され、需要家に対しては無停電で、工事に対しては無電圧で作業ができるいわゆる無停電工法が具体化されることになった。

その概要は、工事区間内の負荷中心点へバイパスケーブル車を配置し、これに搭載された6 kV電源ケーブルで工事区間外からバイパスをかけ、区間内の高压需要家に対してはバイパスケーブル車またはバイパスケーブル車に接続される移動変圧器車から、また低压需要家に対しては移動変圧器車から、それぞれに搭載された検相機能付開閉器とケーブルを経て無停電で供給を継続する一方、6 kV線路開閉器を開放して工事区間内を完全無電圧にし、自動検相機能とケーブルの巻取り、昇降柱に動力を駆使するなどの総合機動力で安全かつ迅速に工事を遂行しようとするものである。

当社はこのほど、この無停電工法の一環を担う移動変圧器車に搭載される無停電工法用移動変圧器を中部電力㈱の御指導を得て開発した。

従来の移動変圧器に比べてコンパクトにまとめられたほか、自動検相機能の充実、柱上変圧器2バンク対応、中性相切替による利用効率の向上、開閉器誤投入防止機能の付加など数々の改良が加えられている。



特長

- ① kVA当りにおける容積比が従来の約60%。
- ② 対話形式による検相作業の容易化。
- ③ 柱上変圧器2バンク分まで同時供給可能。
- ④ 中性相切替による移動変圧器利用効率の向上。
- ⑤ 開閉器誤投入防止などインタロック機能の充実。
- ⑥ 高低圧ケーブルのコネクタ化による作業性向上。
- ⑦ 折たたみ式安全柵による高所作業の安全確保。
- ⑧ 6 kV限流ヒューズ及び配線用しゃ断器採用によるしゃ断性能の向上。 (水野 記)

■主な仕様

定格容量	100kVA(3時間定格)×2台
結線	V結線
定格一次電圧	6600V
定格二次電圧	210V-105V
定格周波数	60Hz
配電方式	灯動共用式 210V-105V
	三相三線式 210V
	単相三線式 210V-105V
	単相二線式 210V
外形寸法	幅 1580mm
	高さ 1720mm
	長さ 2040mm
総重量	1900kg

